



アクセサリ チェックバルブ(逆流防止弁)

CV-15,20,25,40,50,80,100

ガス管中への燃焼用エア等の逆流を防止する。

特長

- 1 チェックバルブは燃焼装置または燃焼機器の構造上、または配管上、ガス管中への燃焼用エア等の逆流を防止する目的のものです。
- 2 低差圧の逆流にも作動します。本体、弁はアルミ製(15,20は、本体が真鍮製)のため、軽量で取扱が容易です。
- 3 接続はフランジ(JIS5K)のため、補修、取り替え等が容易です。(15,20は、ねじ込み式)
- 4 使用圧は30kPaまでです。

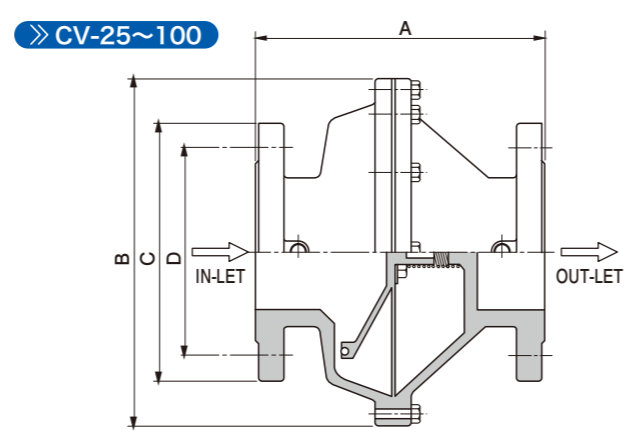
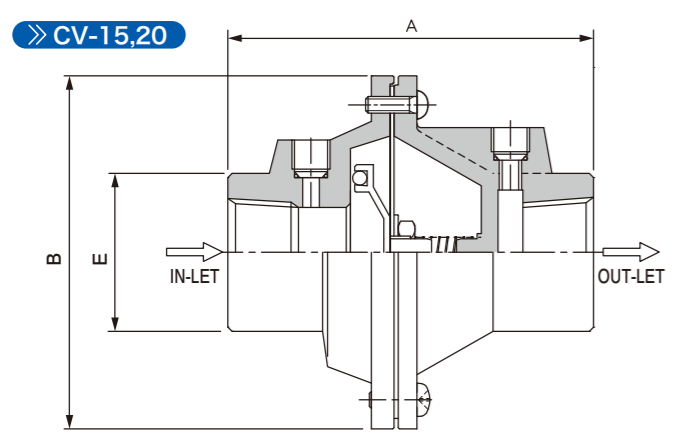


主な用途

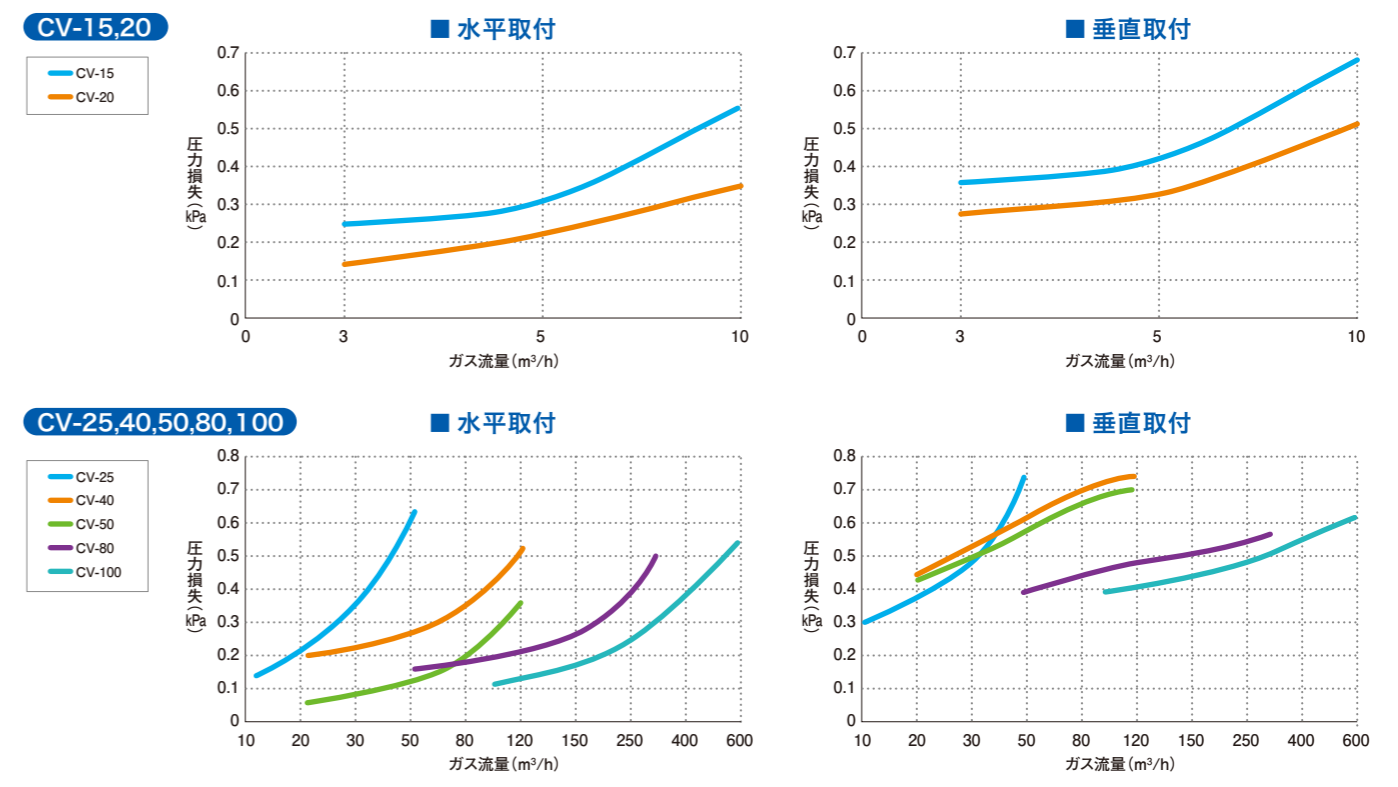
- ガスラインの逆流防止。
- ガスラインへのエア逆流防止。

仕様・外形寸法

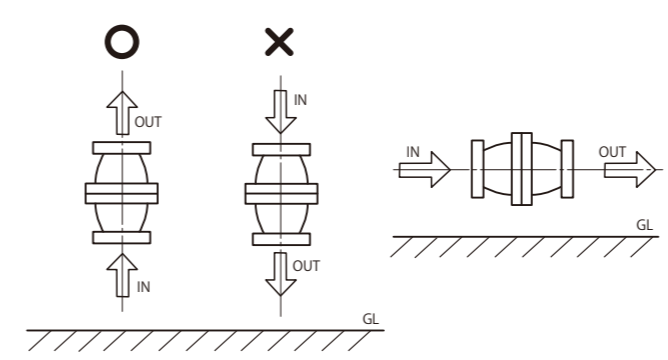
型式	CV-15	CV-20	CV-25	CV-40	CV-50	CV-80	CV-100
外形寸法(mm)	A	80	88	113	140	160	245
	B	78	85	100	145	170	320
フランジ寸法(mm)	C(φ)	—	—	95	120	130	200
	D(PCD)	—	—	75	95	105	165
外形寸法(mm)	E(φ)	34	38	—	—	—	—
接続径	Rc 1/2	Rc 3/4	フランジ JIS5K 1	フランジ JIS5K 1 1/2	フランジ JIS5K 2	フランジ JIS5K 3	フランジ JIS5K 4
本体重量(kg)	0.74	0.88	1.3	1.7	2.3	5.2	8.5



流量特性(目安) ※ガス量と圧力損失の関係(*ガス種:13A)

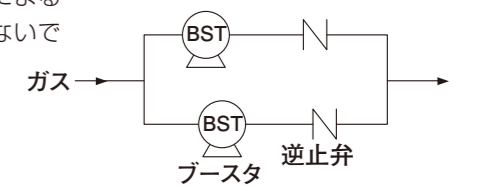


取扱い上の注意



- 天然ガス及びLPG専用です。
- 本バルブは管内圧力の状況により、閉止が瞬間のみの場合もありますのでご注意ください。
- 取り付けは水平、垂直(ガスの流れが下から上)を原則とします。(ガス流れが上から下への垂直取付けはさけて下さい)ガス圧力と圧損特性を考慮のうえサイズ、取付方向等を決定して下さい。
- 材質がアルミのため本体に無理な荷重がかからないように取り付けて下さい。
- 取り付け工事に際しても、本体にねじり曲げなど無理な力がかからないように注意して下さい。
- 定期的な作動チェックを行って下さい。このためには逆止弁前後に完全にガスを遮断するバルブまたはコックを取り付けて下さい。
- Oリング、ダイヤフラムにNBR(ニトリルゴム)を使用しているため、空気配管、酸素配管などの使用はさけて下さい。(NBRはオゾンに対して耐久性がないため)

- Oリングの取り付けは「溝はめ込み構造」のため逆火など瞬時に大きな力がかかれば外れることがあります。逆止弁取付配管に万一逆火が起こった場合は、点検要領により必ず逆止弁を検査して下さい。
- Oリングの取り付けは「溝はめ込み構造」のため、くり返し振動が加わるとOリングが外れることがあります。このため、次のような配管でプースタを同時運転することはさけて下さい。また、真空ポンプによる負圧にも使用しないで下さい。



- NBRを使用しているため、逆止弁本体の温度が60℃以上にならないようにして下さい。(特に停止時に注意)
- 配管内に侵入したゴミなどが閉止を阻害することがありますので、必ずストレーナを併用して下さい。
- 逆止弁通過ガスは油分、水分などを充分除去して下さい。
- 取付時に逆止弁内部にゴミ、シール剤など異物の入らないように充分注意して取り付けて下さい。
- 逆流が発生した場合は、ただちにバルブなどで逆流を停止して下さい。
- 逆流防止弁に長時間逆圧をかけたまま放置しないで下さい。
- 内部にNBR製のOリング、ダイヤフラムを用いているので本製品の寿命は5~7年です。
- 現場では逆止弁の分解組立は行わないで下さい。